

久寺家地区令和6年度第3回地域会議議事録（要旨）

【1】開催日時：令和7年2月2日（日）9：30～11：45

【2】開催場所：久寺家近隣センター 多目的ホール

【3】出席者： 15団体25名、我孫子市市民協働推進課2名

久寺家地区まちづくり協議会(4名)、久寺家自治会、久寺家三菱自治会、久寺家2丁目自治会、久寺家マンション自治会、土谷津町会(2名)、日新自治会(2名)、久寺家三菱子ども会、久寺家二丁目子ども会、久寺家地区民生・児童委員、北地区社会福祉協議会、社会福祉法人栄興会つくし野荘、よしみちサロン「風」、久寺家生活お助け隊、みんなの広場「風」(2名)、市民協働推進課(2名)、地域会議事務局(4名)

【4】議事要旨（主な報告と意見の要点を記載）

1. 事務局より議事及配布資料を確認(別紙)と初めて出席の方の自己紹介

2. 我孫子市市民協働推進課関連施策の経過と次年度の方向

- ・今年度は、AED設置の補助事業の推進、男女参画制度への推進等を行った。AED設置については、設置及管理条件があるが、リース/買取りともに機器費1/2の補助を行い推進、来年度も予算確保。
- ・来年度は、久寺家近隣センター更新工事を予定。工事内容は給排水の更新。夏頃に来るだけ休館せずに工期3ヶ月程度を予定、今後継続してトイレ他、防災工事等も検討。
- ・市の財政が厳しい状況で、諸活動について地域の方々へ協力を依頼していくことになります。
- ・まち協活動は、それぞれ地域住民構成にあった進め方で行事等立案いただき、市が協力したい。

3. 地域会議参加団体の今年度の活動について報告と意見交換

(1)久寺家地区まちづくり協議会

- ・コミュニティ活動の推進、久寺家近隣センターの運営管理が主な活動。
- ・住民交流で祭り(夏まつり、秋の収穫祭、新春の集い)、子どもための行事、ラジオ体操等を実施。
- ・近隣センターの地域優先を進めているが、予約のオンライン化で地域外からの利用が増加し、予約が取りづらく地域住民が利用出来ないケースが発生している。その対策として市へ地元地域住民の優先利用予約方法の改善、利用時間枠細分化する等の予約システム改善の申し入れをしている。

(2)久寺家自治会

- ・定例行事をすべて復活した。
- ・カラス対策として、ゴミステーション3カ所で試験的にゴミ箱を設置。来年度に全てのステーションに設置予定。

(3)久寺家三菱自治会

- ・住民75才以上が1/3以上であり、今年度従来のネットに替えて設置の扱いやすいゴミボックスを一部試験的に設置した。来年度に予算処置をして全箇所に設置する予定。市の規則に従いゴミボックスは使用时以外折りたたんで設置。

(4)久寺家2丁目自治会

- ・増えてきた空き家の確認、防災防犯の見回り、民生委員の方と協力して独居高齢者の見守りや民生委員への連絡など話し合い、自主防災組織図の作成などを実施。

(5)久寺家マンション自治会

- ・防犯カメラを設置した。AED 設置、高齢化、空き家増で自治会役員の選定方法変更を検討。

(6)土谷津町会

- ・集会所を地主に返却し、現状集会所(一時避難所)が無くなった。別の場所を検討中。
- ・高齢等を理由とした町会からの退会希望者が増え会員減っている。防犯協議会から退会はしないが、高齢化のため防犯パトロールは免除してもらった。
- ・令和7年度末で第10消防分団は廃止、令和8年度以降は地域の他消防分団と合併。
- ・道路拡幅工事は柏地区も近々終了、ただ農作物への影響で街灯の設置ができないので防犯の旗など代替方法を検討。

(7)日新自治会

- ・コロナ禍で中断した集会所での感謝祭等の行事を再開予定。
- ・集会所の保存登記実行のため、地方自治法に基づく認可地縁団体への自治会の法人化を進め、また敷地の払い下げも要請する。
- ・高齢化で自治会活動に支障が出そうで憂慮している。転居者の跡地の住宅開発が進み、新たな住民が自治会に加入し地域共同体が維持できるかも心配している。

(8)久寺家三菱子ども会

- ・来年度から、久寺家自治会子ども会と久寺家三菱自治会子ども会は、一緒に活動することになった。
- ・従来は、児童の入学情報を根戸小学校からもらっていたが、根戸小学校以外への入学の場合もあるため、来年度から自治会から情報を出してもらうこととした。
- ・従来は4年生の保護者が子ども会の担当者を輪番してきたが、来年度から子ども会担当者に加え、根戸小学校の職員さん、まちづくり協議会の担当者の3名で対応する体制に変更。

(9)久寺家2丁目子ども会

- ・布施地区の入学児童1名のお祝いを2丁目負担とした。他地区児童お祝いの費用負担は、来年度以降は当該自治会とPTA地区委員で対応していただくようお願いします。
- * 他自治会行事に参加する子どもさんの費用負担は所属地域自治会とすることに皆さん同意。
- * まち協より、子供数の増加に対応した活動にシフトする考え、および若い家庭の協力をお願いしていることを説明。

(10)北地区社会福祉協議会(別紙)

- ・地域の小中学校や中央学院大学等との連携協力や交流活動と、地域の支え合い活動、見守り活動に注力している。
- ・見守り活動事例として、久寺家三菱自治会の安否確認シートを協議会の行事で紹介したところ大変反響が大きく、2月号の社協だよりも掲載した。

(11)久寺家地区民生・児童委員

- ・民生委員は生活保護の対応がもともとであり、現状では久寺家地区に該当者はいないが、困ったことの相談、専門部署への紹介等行っている。
- ・民生委員の役割を知っていただくことも民生委員の役割なので、各自治会でも民生委員に説明させていただく機会を設けて下さるようお願いします。
- ・児童委員も兼務しており、子どもの不登校などにも対応する。根戸小学校長との懇談会を実施した。

(12)社会福祉法人栄興会つくしの荘

- ・コロナ禍で止めていた中央学院大生のボランティア受入を再開。高齢者支援課の指導もあり体操教室などの行事も4月から実施予定。
- ・高齢者のボランティアについては、施設の園芸、話し相手などの活動を考えている。

(13)よりみちサロン「風」

- ・よりみちサロン、きらめきサロン、近隣センターでの体操等を実施、月に延べ 350 名位の参加。
- ・きらめきサロンでは認知症サポーターの講習、市からの介護施設の種類についての説明を実施。
- ・民生委員、お助け隊、なんでも相談室、自治会等との連携を重視している。

(14)久寺家生活お助け隊

- ・自助と共助の「すきまを埋める」との方針で活動している。
- ・今年度はゴミ出し代行等で、延 135 件のサポートを実施。
- ・介護保険法改正の影響でホームヘルパーが不足している。厚労省は地域で元気な高齢者が支える方向としている。どのようにサポートしていけるかについて、互助を研究して取り組んでいきたい。
- ・近隣センターの予約が困難な状況打開に、市の独自システム化等で利用時間を細かくしてはどうか。

(15)NPO 法人みんなの広場「風」

- ・昨年 7 月にあけぼの公園近くの家でグループホームを設置した。隣近所へは随時声掛けしている。
- ・まち協、子供会、サロン風の協力に感謝。
- ・中央学院大学のボランティア活動を受け入れている。

4. あびバス小委員会計画報告(別紙)

- ・事務局より、我孫子市交通会議資料を基に新ルートなど説明。
- ・後日、我孫子市広報で情報公開されるので、本紙の住民配布は控えてください。

5. 2025 年度久寺家地区 6 自治会合同防災訓練について (別紙)

- ・住民の約 7 割の方が何らかの形で参加いただいた。
- ・収支報告書について説明。
- ・来年度は 11 月 9 日 (日) に合同防災訓練を実施予定。
- ・来年度の実施内容については、6 自治会協議会で打合せ中。

以上